

Ⅱ 事業

1 子どもと子どもの読書活動を支援する人へのサービス

子どもたちが読書の楽しさや喜びを知り、読書する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書展示のほか、小・中学校や学校図書館との連携、子どもの読書活動を支援する大人へのサービス等を継続して行っています。平成 25 年 3 月には、教育部指導室と連携して『第二次狛江市子ども読書活動推進計画』を策定しました。これを基に引き続き事業の推進に取り組んでいきます。

<おはなし会>

子ども向けのおはなし会事業は、開館当初から実施しており、子どもと本の出会いをつくる機会として今日まで継続しています。市内のおはなしグループの協力を得ながら、平成 9 年 10 月には乳幼児の親子を対象としたおはなし会も開始し、12 年度にはさらに対象年齢を分けて回数を増やしました。近年は乳幼児の親子参加が増える一方で、小学生の参加は減っています。小学生の図書館利用数が減っているわけではないことから、学校図書館の整備が進み、学校現場での読み聞かせ活動が充実したことが要因しているものと考えます。これを踏まえ中央図書館では、乳幼児から就学前の子どもたちに対するおはなし会を拡充し、23 年度から土曜日の開催を試行するなど、平日に来館しづらい父親や共働きの両親と一緒に参加できる機会を増やしています。

		子どもおはなし会	親子で楽しむおはなし会		土曜日おはなし会
開催日		毎週水曜日	第 2・4 木曜日		月 1 回程度
対 象		4 歳から小学生	0・1 歳児と保護者	2・3 歳児と保護者	乳幼児と保護者
実施回数		47 回	23 回	23 回	9 回(※)
参加人数	子ども	471 人	303 人	335 人	84 人
	保護者	251 人	292 人	316 人	71 人
	1 回平均	10 人(子ども)	13 組	14 組	9 人(子ども)

※ただし、土曜日に開催した特別おはなし会は除く(イベント・講座に記載)

【親子で楽しむおはなし会】



【子どもおはなし会】



<イベント・講座>

子どもの読書の日や夏休み等に合わせてイベントを実施し、図書館や本に親しむ機会をつくっています。

事業名	開催日	内容	参加人数
科学あそび	7月27日	科学あそび教室「風車をまわそう」(全2回) 講師:塚原 博氏(科学読物研究会会員)	延べ 28人
子ども 図書館員	8月2日・3日	子ども一日図書館員 貸出・返却業務や図書装備を体験	18人
特別 おはなし会	1月12日	おはなしおばさんの玉手箱 語り:藤田 浩子氏(語り部、幼児教育者)	65人
児童行事 実技講座	11月14日・15日	読み聞かせボランティア入門 講師:尾野 三千代氏(和光大学非常勤講師)	延べ 39人
	1月12日	あそべやまんば ~お手玉とあやとりの会 講師:藤田 浩子氏(語り部、幼児教育者)	16人
	3月15日	針と糸を使った読書ノートづくり 講師:横溝 真由美氏(図書館ボランティア)	19人

子ども読書の日(4月23日)

毎年、この日に合わせて推薦児童図書リストを発行し対象図書の展示をしています。また、4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」としてさまざまな企画事業も実施しています。24年度は「パパと楽しむおはなし会」として、幼児とその父親を対象としたおはなし会を期間中の土曜日に開催しました。

科学あそび(夏季)

夏休み中の小学生を対象として、ゲストティーチャーによる簡易な科学実験や科学工作を楽しむ教室を開催しています。テーマに合わせた知識絵本や科学読み物も紹介します。

子ども図書館員(夏季)

小学校4～6年生を対象に、図書館の仕事を体験するイベントを実施しています。

特別おはなし会

おはなしおばさんとして全国でおなじみの藤田浩子さんをお招きして、楽しいおはなしの小道具を使ったあそびの会や福島弁で語る昔話を聴く会を開催しています。

児童行事实技講座(秋冬季)

子どもの読書活動を支援する大人のための講座を実施しています。

◆科学あそび教室 「風車をまわそう」

[開催日時] 平成 24 年 7 月 27 日(金)

①午前 10 時～正午 ②午後 1 時 30～3 時 30 分

[開催場所] 中央公民館 地下ホール

[参加者] ①小学 1・2 年生 12 人 ②小学 3～6 年生 16 人

[講師] 塚原 博さん(科学読物研究会会員、実践女子大学教授)



自分で組み立てた風車に工夫を凝らして、羽を連結させたり羽の曲げ具合を変えたりして、どうすればよく回るか考えました。

◆児童行事实技講座 「読み聞かせボランティア入門」

[開催日時] 平成 24 年 11 月 14 日(木)・15 日(金) 午前 10 時～正午

[開催場所] 中央公民館 2 階 講座室・第四会議室

[参加者] 小学生への読み聞かせに興味関心のある人 延べ 39 人

[講師] 尾野 三千代さん(和光大学非常勤講師、元府中市立図書館司書)



子どもの読書活動を取り巻く社会的状況を踏まえ、講師自身の豊富な経験と実践事例を交えた講話は大変説得力がありました。読み聞かせボランティアの心構えとして、現代の情報過多で実態のない言葉が音だけで耳に入ってしまう子どもたちに対して、心の深いところに染みる活動であるべきということをわかりやすく丁寧に伝えてくれました。

◆特別おはなし会 「おはなしお婆さんの玉手箱」

〔開催日時〕 平成 24 年 1 月 12 日(土) 午前 11 時～正午

〔開催場所〕 中央公民館 第四会議室

〔参加者〕 幼児と保護者 65 人

〔講師〕 藤田 浩子さん(語り部、幼児教育者)



藤田さんお手製の小道具をいっぱい使ったおはなしやリズムミカルな体遊び・歌遊びの楽しい時間。子どもたちと一緒にその保護者も笑顔あふれる貴重なひとときとなりました。

◆児童行事实技講座 「針と糸を使った読書ノートづくり」

〔開催日時〕 平成 24 年 3 月 15 日(金) 午後 1 時 30 分～4 時

〔開催場所〕 中央公民館2階 講座室

〔参加者〕 簡易製本に興味のある人 19 人

〔講師〕 横溝 真由美さん(図書館ボランティア)

現在、図書館ボランティアとして図書の修理を担当して下さっている横溝さんは、ベルギーで「ルリユール(製本・装丁)」を学ばれました。この技能を生かし、図書館では数多くの洋装本や貴重図書を修繕して、壊れた本を蘇えらせてくださっています。今回の講座では、大人の初心者を対象に針と糸を使って紙を綴じる簡易ノート製本を教してもらいました。「紙の目(繊維の方向)」や折り方のコツなどを学びながら組立ていく作業は、意外にも糸がかがることよりもはさみでまっすぐに切ったり、ズレずに貼りあわせることの方が難しかったようです。最後には皆さん無事に完成していました。



＜ブックスタート事業＞

ブックスタートとは、狛江市在住のすべての赤ちゃんとその保護者が、絵本を介してゆっくり向き合い、心触れあうひとときを持つためのきっかけづくりをすることです。図書館では、司書とブックスタート説明員が3・4か月児健康診査会場でブックスタートを行います。実際に赤ちゃんの前で絵本を開き、対面式で読み聞かせを行い、赤ちゃんがどんなふうに絵本を楽しむのかを保護者に体験していただきます。そして、絵本を通じ赤ちゃんに触れあう時間の大切さや絵本の選び方、図書館のおはなし会に関するメッセージを伝えます。また、会場では赤ちゃんの図書貸出券の発行も行なっています。そして、メッセージを伝えた後、一冊の絵本とともに、司書が推薦する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」や図書館の利用案内等を入れた布バッグを手渡します。



ブックスタートパック

平成 24 年度からは、健康診査会場に「赤ちゃんに贈るファーストブック」に掲載されている絵本の展示や、ブックスタートスタンプの押印を開始しました。ブックスタートスタンプは、図書館オリジナルのもので母子健康手帳の3・4か月児健康診査のページに押印しています。ブックスタートの待ち時間を利用して図書貸出券発行の申請をしたり、展示された絵本を手にとってみたりする親子の姿が多数みうけられます。

ブックスタート配布絵本の内訳

タイトル	冊数
『いないいないばあ』(童心社)	161 冊
『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)	178 冊
『くっついた』(こぐま社)	208 冊
『くだもの』(福音館書店)	9 冊
『ここよここよ』(福音館書店)	51 冊



配布絵本

ブックスタート配布絵本の推移

20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
584 冊	547 冊	604 冊	577 冊	607 冊

<図書展示>

季節の行事や子どもたちの身近な事柄をテーマに、関連する絵本や図書を集めたり、それにちなんだ装飾を行ったりして、いろいろな本との出会いのきっかけをつくる企画展示をしています。

期間	テーマ	設置場所
4月1日～4月22日	春のえほん 入園・入学おめでとう	児童コーナー展示架
4月4日～4月15日	開花宣言・春爛漫	2階ロビー展示ケース
4月23日～6月3日	このほんしってる？2012 図書館がすすめる本	児童コーナー展示架
6月16日～7月16日	読書のみちしるべ 小学生にすすめる本	児童コーナー展示架
7月18日～7月31日	ロンドン五輪 スポーツを読む！	児童コーナー展示架
8月1日～8月31日	なぜ？なに？どうして？ 自由研究のタネ	児童コーナー展示架
9月5日～10月1日	方言どこどこ？ 日本のいろいろなことば	児童コーナー展示架
10月3日～11月5日	いもくりかぼちゃ 野菜が好きに？なる絵本	児童コーナー展示架
11月7日～12月27日	クリスマスの絵本	児童コーナー展示架
1月4日～1月13日	お正月によみたい絵本	児童コーナー展示架
1月15日～2月19日	雪のおはなし	児童コーナー展示架
2月20日～3月18日	ねこのきもちがわかる？本	児童コーナー展示架
2月26日～3月3日	ひなまつりの絵本	児童コーナーミニ展示
3月6日～3月18日	東日本大震災のメッセージ	児童コーナーミニ展示
3月25日～4月22日	コールデコット賞の絵本	児童コーナー展示架
3月21日～4月1日	さくら、さいたよ。	児童コーナーミニ展示



<推薦児童図書リストの発行>

図書館がすすめる本を手にとってもらえるように、紹介冊子やリーフレットを作成し、対象資料の特集コーナーを設置しています。また、発行物は市内図書室や学校図書館等へも配布しています。24年度は小学生にすすめる本のリスト「読書のみちしるべ」を発表し、対象資料の複本を充実させました。また、25年度に向けて、市内の中学校図書館と連携して、中学生にすすめる本の候補作品の選定作業も進めています。

タイトル	発行日	内容
このほんしってる？2012 (幼児／1・2年／3・4年／5・6年)	年1回 4月23日発行	前年に刊行された児童図書や絵本の 中から選定して紹介。
Books for you 2012 (中学生以上)	年1回 4月23日発行	前年に刊行された児童図書の中から選 定して紹介。
読書のみちしるべ (小学生にすすめる本)	平成24年7月 発行	読み継がれた基本図書を中心に学年 別に選定して紹介。
図書館で会える絵本 (3～6歳に読んでほしい絵本)	平成22年3月 発行	読み継がれた優良絵本を中心に選定し て紹介。
赤ちゃんに贈るファーストブック (0・1・2歳児に読んであげたい絵本)	平成22年1月 発行	3・4ヶ月健診で実施のブックスタート時 に配布。



<絵本の貸出ベストリーダー10>

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

順位	タイトル	作者	出版社
1	としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン／さく	岩崎書店
2	はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく	偕成社
3	めっきらもっきらどおんどん	長谷川 摂子／作	福音館書店
4	やさいのおなか	きうち かつ／さく・え	福音館書店
5	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	こぐま社
6	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック／さく	富山房
	ぐりとぐらの1ねんかん	なががわ りえこ／作	福音館書店
8	どろんこハリー	ジーン・ジオン／ぶん	福音館書店
9	おばけのバーバパパ	アネット＝チゾン／さく	偕成社
10	11ぴきのねことあほうどり	馬場 のぼる／著	こぐま社

<学校図書館への協力貸出>

市内小・中学校の各学校図書館を窓口に協力貸出を行っています。毎週1回FAX受付による貸出依頼のほか、インターネット予約や来館取り置き分を含めた資料の配送も行います。配送は週2回月曜と木曜に学校専用便を運行し、学校間同士の相互貸借にも利用できます。24年度は81回実施しました。

小学校名	狛江 第一小	狛江 第三小	狛江 第五小	狛江 第六小	和泉小	緑野小	小学校計
貸出冊数(冊)	2,174	912	699	1,477	1,073	1,312	7,647
(内学級文庫)	(450)	(0)	(0)	(0)	(210)	(126)	(786)

中学校名	狛江 第一中	狛江 第二中	狛江 第三中	狛江 第四中	中学校計	全校計
貸出冊数(冊)	381	792	931	927	3,031	10,678

<職場訪問・職場体験>

中学生・高校生が学校を離れて地域の商店や民間企業、公的事業所等の職場で、実際に仕事を体験する事業を受け入れています。この活動は、「働くことの意義や仕事の大切さを感じ取り、将来の進路を選択する態度を身につけたり、人を思いやる気持ちや責任感を育てたりすること」をねらいとしており、図書館ではこの目的が達成できるように支援しています。また同時に、生涯を通じての読書習慣や図書館利用の促進につながるよう様々な内容でプログラムを組んでいます。

学校名	学年	人数	実施日	日数	内容
狛江第一中学校	1年生	2人	1月18日	1日	施設案内、インタビュー
狛江第一中学校	2年生	5人	11月28日～30日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第二中学校	2年生	4人	2月6日～8日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第三中学校	2年生	4人	6月19日～21日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第四中学校	2年生	4人	7月11日～13日	3日	窓口業務、図書装備等
大東学園高等学校	1年生	2人	11月9日	1日	窓口業務、雑誌装備等

【図書カウンターで貸出業務を体験】



【自分のおすすめ本のPOPを作成】



2 成人へのサービス

<文学講演会>

映画監督でありカメラマンの木村大作氏による講演会と、朗読家のおつきゆきえさんによる朗読会を開催しました。

開催日	タイトル	参加人数
1月26日	木村大作講演会～誰かが行かねば、道はできない～ 講師:木村大作氏(映画監督・映画カメラマン)	135人
2月16日	宮澤賢治の世界～朗読を聴く～ 講師:おつきゆきえさん(朗読家)	46人

木村大作講演会 ～誰かが行かねば、道はできない～

平成25年1月26日(土)に狛江市在住の映画カメラマンであり監督の木村大作さんをお迎えして、文学講演会『誰かが行かねば、道はできない』を開催しました。初監督作品「劔岳 点の記」原作者の新田次郎生誕百年を記念し、この映画に人生をかけたという木村さんに“本物”をつくる上でのこだわり、人生観について語っていただきました。



宮澤賢治の世界 ～朗読を聴く～



平成25年2月16日(土)に朗読家として全国で活躍されているおつきゆきえさんをお招きし、「雪渡り」「氷と後光(習作)」「虔十公園林」を朗読していただきました。

季節感あふれ、大人が楽しむことができる内容でした。後半30分の質疑応答では、賢治への熱き想いを語っていただき、おつきさんの人間性が伝わる、暖かく感動的な会となりました。

＜文学散歩＞

「新田次郎ゆかりの地と小池邦夫絵手紙美術館を訪ねて」

1 開催日

平成 24 年 7 月 11 日 (水)

2 場所

富士吉田市立富士山レーダードーム館
小池邦夫絵手紙美術館・岡田紅陽写真美術館

3 参加者 29 人(市内在住者)

4 参加費 1,380 円(入館料・体験料)

『強力伝』『武田信玄』などで著名な新田次郎氏は生誕 100 年でした。中央气象台職員でもあった新田氏ゆかりの富士山レーダードーム館において、氏の著作に関する展示を見学しました。

狛江市在住小池邦夫氏の絵手紙が展示されている美術館では、全員で絵手紙体験を行い、その後氏の力強い絵画・絵手紙を鑑賞しました。

また、文学散歩に伴い、中央図書館内で5月9日から6月3日まで、「新田次郎作品」「小池邦夫絵手紙関係本」「写真美術本」「気象関連本」の展示を行いました。

参加者からのアンケートでは、特に絵手紙体験が好評でした。体験済みの方が多くかと思っておりましたが、「きっかけがなくてやったことがなかった」という声も聞かれ、「また狛江でもやってみたい」「図書館の絵手紙本コーナーも見てみたい」という感想のなかから、体験の意義・興味の広がりを感じました。



富士山レーダードーム館

<図書展示>

期間	テーマ	設置場所
4月4日～4月15日	点字の展示 開花宣言・春爛漫	1階ロビー展示ケース 2階ロビー展示ケース
4月27日～6月3日	憲法と平和～5月3日 憲法記念日に寄せて ※狛江市複製冊子『あたらしい憲法のはなし』同時配布	一般展示コーナー
5月9日～6月3日	文学散歩関連展示「新田次郎ゆかりの地を訪ねて」	一般展示コーナー
5月31日～6月3日	追悼 新藤兼人	一般展示コーナー
6月22日～7月31日	すすめよう！男女共同参画	一般展示コーナー
8月1日～9月4日	平和を求めて2012 ～この1年間の受入図書 狛江市平和都市宣言 30周年記念事業協力展示 平和を求めて ～戦争を忘れないで語りつごう	一般展示コーナー
8月21日	こまえ平和フェスタ2012～戦争を忘れないで語りつごう	エコルマホール ロビー
9月5日～10月22日	おいしい話	一般展示コーナー
10月23日～11月25日	スポーツで健康に！	一般展示コーナー
11月25日～12月8日	利用支援サービス展示「共に生きる」	一般展示コーナー
12月1日～2月14日	文学講演会 「木村大作講演会」関連展示	一般展示コーナー
1月17日～2月28日	おつきゆきえさん朗読会関連展示「宮澤賢治の世界」	一般展示コーナー
3月10日～4月25日	震災 その後の動き+防災の本 見直そう東北	一般展示コーナー

<発行物>

発行日	タイトル
6月20日	「こまえ図書館だより 臨時号 図書館ホームページリニューアル」
9月26日	「こまえ図書館だより 第55号」

3 利用支援サービス

中央図書館では、図書館への来館や読書に困難を感じる方への利用を支援するサービスを行っています。24年度から「障がい者サービス」を「利用支援サービス」と名称変更し、心身の障がいの有無によらず、高齢者や闘病中の方々にも親しみやすく、より身近なサービスをめざしています。これに合わせ、高齢者に向けた新たな試みと、市民向けの講座・講演会を実施しました。

<高齢社会に向けた新たなサービス展開>

超高齢化社会に突入し、読書活動が以前のように行えなくなる方が増加しています。このような方々への新しいアプローチとして市内の2つの高齢者施設を対象に、大きな活字で読みやすい大活字本を80冊セットにして貸出と配送を行いました。事前の施設関係者との打ち合わせの中で、「おはなし会を実施して欲しい」という要望があり、それを受けて、配送時に図書館職員とボランティアがおはなし会を実施しました。準備として、高齢者施設でのおはなし会を実施している自治体（多摩市、八王子市）の視察を行い、ボランティアを対象にした講習会も開催しました。

[試行開催実績]

開催日	施設名	大活字本	おはなし会	職員配置
9/13	グランダ狛江	配送:Aセット	なし	職員:2人
10/10	グランダ狛江参番館	配送:Bセット	なし	職員:2人
11/22	グランダ狛江	配送:Cセット 回収:Aセット	午後2時30分～3時25分 24人	職員:3人 ボランティア:7人
12/19	グランダ狛江参番館	配送:Aセット 回収:Bセット	施設側の事情により中止	職員:2人
1/17	グランダ狛江	配送:Bセット 回収:Cセット	午後2時30分～3時5分 25人(面会家族3人を含む)	職員:3人 ボランティア:5人
2/13	グランダ狛江参番館	配送:Cセット 回収:Aセット	施設側の事情により中止	職員:2人
3/27	グランダ狛江	回収:Bセット	なし	職員:2人
	グランダ狛江参番館	回収:Cセット	なし	職員:2人

試行によって見えてきた課題の解決に取り組み、25年度も高齢者施設へのサービスを継続していきます。

《おはなし会風景》



[体を動かしながら、鉄道唱歌を歌う]



[図書館職員とボランティア]

《高齢者施設「おはなし会」講習会》

[開催日時] 平成24年11月21日(水) 午後2時～4時

[開催場所] 中央公民館2階 講座室

[参加者] ボランティア・協力員 15人

(狛江おはなしの会くーすけ・音訳者・図書館ボランティア 等)

[講師] 山花 郁子さん(児童文学者協会・日本子どもの本研究会会員)

長年、調布市の高齢者施設でおはなし会を行なっている山花郁子さんを講師に迎え、おはなし会の様子、注意する点などについてお話いただきました。高齢者が対象の場合、歌やストーリーテリング、ブックトークやアニメーションといった要素を組み合わせたプログラム作りが求められる、ということで、図書館員をはじめさまざまな技術を持ったボランティアが必要となることがわかりました。

翌日、市内の有料老人ホーム(グランダ狛江)を訪問する予定のため、実際のプログラムの中から素語りと小唄を実演し、講評・指導を受けました。実演したボランティアからは「大人を相手に語るのは緊張する」という感想に対し、「自身が楽しみながら、自然体で行うことが大切」とのアドバイスをいただきました。

〈市民向け講座・講演会〉

来館・読書が困難なご本人のみならず、その方を支える家族、近隣住民、介護従事者などにも図書館の利用支援サービスの存在を周知する目的の講座と講演会を企画しました。市内在住の視覚障がい者の方のご協力により点字に触れ合う講座を実施することができました。また、先進的なサービスを実践している墨田区の図書館の職員をお招きし、取り組みの様子について映像なども交えた講演会を開催しました。

《点字体験 絵本を点訳してみよう》

- [開催日時] 平成24年9月5日(水)・6日(木)・12日(水) 午前10時～正午
[開催場所] 中央公民館第三会議室、第四会議室
[参加者] 15人(点字に興味関心のある人)
[講師] 伊藤 聡子さん(点字技能師)

昨年度、児童行事実技講座で開催した「点字体験」が好評だったため再度開催することになりました。

長年点字を使用してきた講師の体験談は、重い内容でありながらも気さくな語り口で視覚障がいの世界を身近に感じられました。実習では点字規則の難しさに頭を悩ませながらも受講生全員で1冊の絵本『わたし』(谷川俊太郎/長新太/福音館書店)を点訳することができました。

受講後、「今後も絵本の点訳活動を続けたい」という有志が集まり、講師も含めた「絵本点訳の会コスモス」を点字の日11月1日に結成、活動を始めました。

《利用支援サービス(図書館利用に障害のある人へのサービス)の可能性～墨田区立図書館のサービス事例～》

- [開催日時] 平成24年12月8日(土) 午後2時～4時
[開催場所] 中央公民館講座室
[参加者] 20人
[講師] 山内 薫さん(墨田区立あずま図書館)



拡大写本の紹介

弱視者向けの拡大写本に関する著書もあり、日本図書館協会の障がい者サービス委員でもある山内薫さんを講師にお招きし、さまざまなサービスの実例を紹介していただきました。

個人宅への配達、視覚障がい者のための対面朗読の様子を映像で見た後、地域で働く知的障がい者との関係、高齢者施設への出張貸出とおはなし会など墨田区立図書館の業務の解説を受けました。

<利用支援サービス事業実績>

◎ 登録利用者数

(単位:人)

	視覚	聴覚	肢体	内部	精神	怪我	高齢	その他	合計
24年度	22	1	2	3	0	0	0	0	28
23年度	22	1	2	3	0	0	0	0	28

※「その他」には妊産婦を含む

◎ 登録協力員数

(単位:人)

	音訳者	音訳校正者	DAISY 編集者	DAISY 校正者	対面朗読
24年度	27	9	27	27	27
23年度	23年度までは市内の音訳グループへの依頼。				

◎ 対面朗読

	延べ回数	時間数	音訳者の延べ人数
24年度	53回	106時間	106人
23年度	64回	124.5時間	126人(図書館職員2人含む)

◎ 宅配サービス

(単位:回)

	図書資料		録音資料		点字資料		その他		配達回数
	回数	タイトル	回数	タイトル	回数	タイトル	回数	事由	
24年度	60	155	0	0	0	0	0	—	60
23年度	49	122	12	30	0	0	1	文書	62

◎ 録音資料・点訳資料

① 蔵書数

(単位:タイトル数)

		作成		購入		合計
			うち 24 年度		うち 24 年度	
録音資料	カセットテープ	235	0	0	0	235
	DAISY	207	8	1	0	208
点字資料		0	0	34	3	37

② 24 年度作成件数

(単位:タイトル数)

		図書館所蔵分	個人提供分	合計
録音資料	カセットテープ	0	0	0
	DAISY	8	1	9
点字資料		0	0	0

③ 貸出件数(相互借受含む)

(単位:タイトル数)

カセットテープ	DAISY	点字資料	合計
1	20	0	21

※貸出件数は個人貸出、団体貸出の合計

④ 相互貸借件数

(単位:タイトル数)

	カセットテープ	DAISY	点字資料	合計
相互貸出	4	23	0	27
相互借受	0	19	0	19

4 図書館活動を支える人たち

今日の図書館において、より細やかな図書館サービスを目指しそれを実践する上で、市民ボランティアの存在は必要不可欠です。図書館利用者の一人でもあるボランティアの方々が、日頃の活動を通じて、図書館をより理解していただけるような取り組みになることを願っています。

<市民グループの活動>

中央図書館では、おはなし会事業や音訳・対面朗読など、それぞれの分野で活動する市民グループの方々と長きにわたって協働してきました。定期連絡会や講座・研修会などを通じて、各グループと図書館職員が交流しながら、図書館利用者へのサービス向上に努めています。

活動区分	活動グループ	活動開始時期	活動者数
音訳・対面朗読	狛江朗読ボランティアグループ	昭和 52 年	18 人
	Daisy はるか	平成 11 年	10 人
	音訳いれぶん	平成 24 年 4 月	11 人
おはなし会	狛江おはなしの会くーすけ	平成 10 年	13 人
布の絵本製作	布の絵本製作ボランティアはなみずき	平成 16 年 3 月	7 人

<図書館ボランティアの養成>

平成 22 年 10 月、図書館活動への参加に意欲のある市民を対象に、図書館ボランティア養成講座を実施して個人のボランティア登録制度を開始しました。24 年度は 18 人の方がそれぞれの興味関心や経験を生かしながら、やりがいを持って活動しています。

活動区分	主な内容	活動実績	活動者数
図書修理	資料の補修や破損修理など	117 日、1704 冊を修理 (1回3時間程度)	13 人
館内整理	読書調査室の整理整頓を中心に 新聞整理、リサイクルラベルの貼付など	169 日 (1人当たり週1回1時間程度)	5 人



【開館前の新聞整理】



【破損した絵本の修理】

◆図書館ボランティア養成講座 「図書修理のための製本研修会」

〔開催日時〕 12月11日(火) 午前10時～午後3時45分

〔開催場所〕 中央公民館2階 講座室

〔参加者〕 図書館ボランティアと図書館職員 20人

〔講師〕 高尾 齋さん(キハラ製本アドバイザーチーフ)



図書の修理を行う上で必要な本の構造や洋装本の形態を学び、実際に丸背洋装本を解体してから本の組み立てに必要な材料をつけ替えて元の形に戻す作業をしました。仲間同士が顔を合わせて共通体験をすることで、より互いの理解が深まる良い機会ともなりました。

<音訳者のスキルアップ>

視覚障がい者や活字による読書が難しい方のための録音資料の製作は、23年度まで、市内で活動している音訳グループに依頼していました。しかし近年、各グループの活動参加者が減少してきたため、22・23年度の二カ年計画で、新規の音訳者養成講習会を実施しました。その後、講習を修了した11人が新たに「音訳いれぶん」としてグループを結成しています。このような状況を受けて、24年度からはグループへの製作依頼ではなく、音訳者の個人登録制度を導入し、音訳者のスタイルに合わせた個別の依頼形式に変更しました。これにより当面は、新規養成を見合わせ、登録者の技術向上を支援していく予定です。

◆音訳者スキルアップ研修 「マンガの音訳講習会」

〔開催日時〕 2月20日(水)・27日(水) 午後1時30分～4時30分

〔開催場所〕 中央公民館2階 講座室

〔参加者〕 登録音訳者 延べ39人

〔講師〕 三浦 一男さん

(全国音訳ボランティアネットワーク、霊友会法友文庫点字図書館副館長)



これまで音訳者は「見たままに、すべての情報を伝えること」という指導を受けてきましたが、マンガに関しては「その面白みを失わないこと」に重点を置き、解説しすぎずにオチを最後まで取っておくといった今までにない処理技術を学びました。

5 リサイクル事業

中央図書館で除籍手続きを経て不用となった資料を市民等に無料配布しています。

実施日 平成24年11月17日(土)～18日(日)

場所 中央公民館地下ホール

	11月17日	11月18日	合計
来場数	587人	336人	923人

	提供冊数	配布冊数	配布率
一般書	4,950冊	3,301冊	66.7%
児童書	1,419冊	1,385冊	97.6%
雑誌	1,987冊	1,551冊	78.1%
合計	8,356冊	6,237冊	74.6%

※うち、小中学校・保育園等への配布(児童及び雑誌) 700冊

各地域センター図書室の取り組み

<野川地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	人数
6月25日～7月7日	七夕かざり 短冊に子どもたちの願いごとを書いて笹につけてもらう	3名
7月16日～8月31日	夏休み課題図書等展示 夏休み課題図書・自由研究・工作等の展示を行う	
8月17日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	
10月7日～10月15日	リサイクル事業 利用者発表会にて廃棄本の無料配布(7日) 図書室前にて廃棄本の無料配布(8日～)	600冊
10月26日	仮装で楽しむおはなし会(協力 テラコヤ 3 Little Trees) 工作 「タペストリー製作」 パネルシアター 「おばけなんてないさ」「てをたたきましょう」 絵本よみきかせ 「みんなでぼん」 「おおきなかぶ」 音遊び手遊び 「どんぐりころころ」 「魔法のマラカスで変身」	親子 80名
11月27日～12月25日	クリスマス展示 クリスマスツリー飾り付け 関連図書展示	親子 28名
2月24日	親子料理教室(指導 第4育成委員会) おひな様寿司といちご大福 関連図書展示	
通年	展示 ・「このほんしってる? 2012 幼児/1・2年/3・4年/5・6年」 「Books for you」展示 ・新着図書紹介コーナー ・絵手紙コーナー ・その月の行事等に合わせ、関連する絵本を展示(ゆめ ねがい/ゆき/おひっこし/さくら/さかな 川 うみ/雨かさ かたつむり あじさい/ほし/かみなり にじ 嵐 /らいおん/ ハロウィン/木枯らし/クリスマス)	

<上和泉地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	人数
8月1日～	リサイクル事業 廃棄本の無料配布(一般書)	
8月17日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	1名
9月1日～2月28日	特別貸し出し 改修工事による休室中、緑野文庫(122冊)を緑野小学校図書館へ特別貸し出し	
9月1日～2月28日 通年	改修工事のため休室 季節感を出した室内装飾 本の展示 季節や行事に合わせた本の展示 書架のディスプレイ ・テーマの本(一般・児童)テーマを決めて毎月展示(ちしきえほん・ガーデニング・スポーツなど) ・新着図書(一般・児童) ・緑野文庫(緑野小学校図書館が本の森より選定) ・課題図書	

<岩戸地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	人数
6月19日～26日	図書特別整理	
6月27日～7月7日	七夕	
	短冊に願いを書いて笹につけてもらう。 関連図書の展示	
7月18日～8月31日	夏休み課題図書	
	夏休み課題図書展示	
7月19日～	小学生向け推薦図書	
	推薦図書の展示「読書のみちしるべ」	
7月31日	夏休み子ども教室(講師:運営協議会事業部)	22名
	「まんじゅう作りとフルーツポンチ」	
	関連図書の展示	
8月17日	子ども一日図書室員	2名
	児童に図書の体験をしてもらう。	
10月21日～31日	リサイクル事業	約900冊
	廃棄本の無料配布	
	(利用者発表会に合わせて実施)	
通年	本の森	
	新着図書のコーナー	
	あたらしい子どもの本コーナー	
	絵手紙コーナー	
	関連本の展示	

＜南部地域センター図書室＞

実施日	取り組みと内容	人数
4月～	子どもの読書の日 「図書館で会える絵本」配布	
6月26日～7月7日	七夕かざり 短冊に、子どもたちの願い事を書いて笹につけてもらう	
7月4日	子ども七夕会(協力:人形劇サークルぶんぶん) 大型絵本 「はなのあなのはなし」 パネルシアター 「森のアイスクリームやさん」	子ども 100名 大人 39名
7月20日～8月31日	夏休み関係図書展示 夏休み課題図書等の展示	
8月17日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
10月28日	リサイクル事業 利用者発表会にて廃棄本の無料配布	654冊
10月29日～11月7日	玄関ホールにて廃棄本の無料配布	
12月14日	子どもクリスマス会 人形劇(協力:人形劇サークルスープ) 「ねずみのかぞくのサーカス」 午前:乳幼児対象 午後:幼児～小学生低学年	午前 親子 109名 午後 127名
4月～3月 (7・12月除く)	おはなし会 小林弥栄子さん 4回 尾上民さん 6回 全10回実施	平均21名 子ども103名 大人105名
4月～3月 (7・8・12月除く)	親子で楽しむおはなし会 小川美枝子さん・図書職員 全9回実施	平均37名 子ども155名 大人183名
4月～3月	本の展示 絵本コーナーにその月の行事等に合せ、関係する絵本を展示	

施設概要

館・室名	開館年月日	所在地	面積 (㎡)	閲覧席
		電話		
中央図書館	昭和 52 年 11 月 23 日	和泉本町一丁目1番5号 市民センター内1F	1623.3	一般 52 児童 10
		03-3488-4414		
野川地域 センター図書室	昭和 51 年6月2日	西野川一丁目6番9号 野川地域センター内1F	108.0	6
		03-3480-2211		
上和泉地域 センター図書室	昭和 53 年8月3日	和泉本町四丁目7番 51 号 上和泉地域センター内2F	131.7	10
		03-3489-9101		
岩戸地域 センター図書室	昭和 53 年7月 23 日	岩戸南二丁目2番5号 岩戸地域センター内1F	94.8	0
		03-3488-7040		
南部地域 センター図書室	昭和 58 年4月3日	猪方四丁目11番1号 南部地域センター内1F	119.0	8
		03-3489-2150		
西河原公民館 図書室	平成 18 年8月 11 日	元和泉二丁目 35 番1号 西河原公民館内1F	174.84	一般 45 児童 8
		03-3480-3201		

登録番号 H25-7

平成 24 年度図書館・図書室事業報告書

平成 25 年6月発行

発行・編集 狛江市教育委員会教育部図書館
〒201-8585 狛江市和泉本町1丁目1番5号
電話 03(3488)4414
<http://www.library.komae.tokyo.jp/>

印刷 庁内印刷

頒布価格 無償